

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成25年11月8日
【四半期会計期間】	第50期第2四半期（自平成25年7月1日至平成25年9月30日）
【会社名】	株式会社ケー・エフ・シー
【英訳名】	K F C , L t d .
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 高田 俊太
【本店の所在の場所】	大阪市北区西天満3丁目2番17号
【電話番号】	06(6363)4188
【事務連絡者氏名】	取締役経理部長兼経営企画室長 堀口 康郎
【最寄りの連絡場所】	大阪市北区西天満3丁目2番17号
【電話番号】	06(6363)2689
【事務連絡者氏名】	取締役経理部長兼経営企画室長 堀口 康郎
【縦覧に供する場所】	株式会社ケー・エフ・シー東京本社 （東京都港区芝公園2丁目4番1号 芝パークビルB館11階） 株式会社ケー・エフ・シー横浜営業所 （横浜市都筑区大丸8番4号 都筑岩澤ビル） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第49期 第2四半期連結 累計期間	第50期 第2四半期連結 累計期間	第49期
会計期間	自 平成24年 4月1日 至 平成24年 9月30日	自 平成25年 4月1日 至 平成25年 9月30日	自 平成24年 4月1日 至 平成25年 3月31日
売上高 (千円)	7,889,609	8,583,179	17,042,019
経常損失 ( ) (千円)	371,545	123,427	168,300
四半期(当期)純損失 ( ) (千円)	258,989	86,167	159,310
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	335,096	14,099	94,288
純資産額 (千円)	6,336,542	6,526,395	6,577,349
総資産額 (千円)	16,793,873	17,266,517	17,010,330
1株当たり四半期(当期)純損失金額 ( ) (円)	35.14	11.69	21.61
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	37.7	37.8	38.7
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	1,161,654	9,747	1,384,508
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	56,217	91,662	58,929
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	85,579	51,984	124,805
現金及び現金同等物の四半期末(期末) 残高 (千円)	2,215,004	2,529,818	2,395,919

回次	第49期 第2四半期連結 会計期間	第50期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自 平成24年 7月1日 至 平成24年 9月30日	自 平成25年 7月1日 至 平成25年 9月30日
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額 ( ) (円)	11.33	9.97

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等を含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、1株当たり四半期(当期)純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 経営成績に関する分析

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、長期化した円高・株安基調が一服する一方、依然として雇用・所得環境の低迷は続き、また、消費税率引き上げによる消費減退への懸念もあり、先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループが関連する建設業界におきましても、2020年の東京オリンピック開催決定に伴うインフラ整備等による明るい材料は見られるものの、熾烈な受注獲得競争が続いており、利益確保に向け極めて厳しい環境が続いております。

このような状況の下、当社グループの当第2四半期の連結業績につきましては、売上高は85億83百万円（前年同四半期比8.8%増）となりました。収益面につきましては、総コストの圧縮を引続き行ってまいりましたが、資材の高騰等による影響を受け、経常損失1億23百万円（前年同四半期は経常損失3億71百万円）、四半期純損失86百万円（前年同四半期は四半期純損失2億58百万円）となりました。

セグメント別の売上高は以下のとおりであります。

##### 〔ファスナー事業〕

「あと施工アンカー」をはじめとする建設資材の販売は堅調に推移したものの、耐震関連工事の売上減少により、売上高は29億98百万円（前年同四半期比6.5%減）となりました。

##### 〔土木資材事業〕

当社グループの独自工法である「FIT工法」に係る土木資材の販売が伸び悩み、売上高は30億6百万円（前年同四半期比14.4%減）となりました。

##### 〔建設事業〕

前期末にかけて受注を行った比較的大型な物件及び関東エリアを中心とした新規受注物件の進捗に伴う工事進行基準に係る売上により、売上高は25億77百万円（前年同四半期比120.2%増）となりました。

##### 営業利益、経常利益の状況

販売費及び一般管理費につきましては、20億45百万円（前年同四半期比2.5%減）となり、原材料費の高騰等による売上総利益の減少により、営業損失1億12百万円（前年同四半期は営業損失3億61百万円）となりました。また、営業外損益につきましては有利子負債のより一層の圧縮に努めましたが、経常損失1億23百万円（前年同四半期は経常損失3億71百万円）となりました。

##### 四半期純利益の状況

繰延税金資産の回収可能性を慎重かつ厳格に検討し、繰延税金資産を計上した結果、四半期純損失86百万円（前年同四半期は四半期純損失2億58百万円）となりました。

#### (2) 財政状態に関する分析

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ2億56百万円増加し、172億66百万円（前年同四半期比2.8%増）となりました。これは主として有価証券の増加によるものであります。

また、負債につきましては、主として長期借入金の増加により、前連結会計年度末に比べ3億7百万円増加し107億40百万円（前年同四半期比2.7%増）となりました。

なお、純資産につきましては、利益剰余金の減少により、前連結会計年度末に比べ50百万円減少し65億26百万円（前年同四半期比3.0%増）となり自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.9ポイント減少となりました。

(3) キャッシュ・フローに関する分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、25億29百万円（前年同四半期比14.2%増）となりました。各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動における資金は、減価償却費1億3百万円、未成工事受入金及び前受金の増加による88百万円の収入があったものの、税金等調整前四半期純損失1億22百万円、たな卸資産の増加による1億61百万円の支出があったことなどにより、9百万円の支出（前年同四半期は11億61百万円の収入）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動における資金は、定期預金の払戻による収入が1億円あったことなどにより、91百万円の収入（前年同四半期は56百万円の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動における資金は、金融機関からの長期借入金の借入などにより、51百万円の収入（前年同四半期は85百万円の支出）となりました。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、30百万円（前年同四半期比10.0%増）であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	18,970,000
計	18,970,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月8日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	7,378,050	同左	東京証券取引所 市場第二部	単元株式数1,000株
計	7,378,050	同左	-	-

(注)平成25年10月18日開催の取締役会において、平成25年12月2日より単元株式数を1,000株から100株に変更することを決議いたしました。

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数(株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額(千円)	資本金残高(千円)	資本準備金増減額(千円)	資本準備金残高(千円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日	-	7,378,050	-	565,295	-	376,857

(6)【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数(千株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
高田 信子	大阪府吹田市	784	10.63
積水樹脂株式会社	大阪市北区西天満2-4-4	777	10.53
ケー・エフ・シー取引先持株会	大阪市北区西天満3-2-17 株式会社ケー・エフ・シー総務部内	423	5.73
高田 俊太	東京都目黒区	383	5.19
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2-7-1	325	4.40
吉田 隆興	大阪府吹田市	212	2.87
新井 嘉重	大阪府高槻市	211	2.86
ケー・エフ・シー従業員持株会	大阪市北区西天満3-2-17	201	2.73
電気化学工業株式会社	東京都中央区日本橋室町2-1-1	200	2.71
坂本 澄雄	熊本県熊本市	186	2.52
計	-	3,702	50.19



(7)【議決権の状況】  
【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 7,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 7,366,000	7,366	-
単元未満株式	普通株式 5,050	-	-
発行済株式総数	7,378,050	-	-
総株主の議決権	-	7,366	-

(注)上記「単元未満株式数」には、当社保有の自己株式94株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社ケー・エフ・シー	大阪市北区西天満3-2-17	7,000	-	7,000	0.09
計	-	7,000	-	7,000	0.09

(注)当第2四半期会計期間末日現在の自己株式数は、7,094株であります。

2【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に準拠して作成し、「建設業法施行規則」（昭和24年建設省令第14号）に準じて記載しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、太陽A S G有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,495,919	2,029,818
受取手形及び完成工事未収入金等	<sup>2</sup> 5,510,145	5,368,174
有価証券	-	500,000
未成工事支出金	230,849	449,311
商品	924,944	867,893
繰延税金資産	150,600	190,704
その他	383,405	464,515
貸倒引当金	1,239	1,145
流動資産合計	9,694,624	9,869,272
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,514,738	1,502,336
機械装置及び運搬具(純額)	90,175	82,380
工具、器具及び備品(純額)	20,538	20,980
土地	4,230,438	4,230,438
リース資産(純額)	203,815	212,389
有形固定資産合計	6,059,706	6,048,526
無形固定資産		
その他	99,276	88,499
無形固定資産合計	99,276	88,499
投資その他の資産		
投資有価証券	921,570	1,033,152
その他	282,603	270,056
貸倒引当金	91,317	82,372
投資その他の資産合計	1,112,857	1,220,837
固定資産合計	7,271,840	7,357,862
繰延資産		
社債発行費	43,865	39,382
繰延資産合計	43,865	39,382
資産合計	17,010,330	17,266,517

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び工事未払金等	<sup>2</sup> 4,959,845	4,960,938
短期借入金	200,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	1,050,600	1,016,000
1年内償還予定の社債	550,000	570,000
未払法人税等	10,472	10,132
未成工事受入金及び前受金	127,287	215,704
賞与引当金	60,347	120,560
その他	399,795	379,483
<b>流動負債合計</b>	<b>7,358,348</b>	<b>7,472,819</b>
<b>固定負債</b>		
社債	1,440,000	1,245,000
長期借入金	1,315,000	1,656,000
繰延税金負債	9,671	49,490
退職給付引当金	119,712	120,315
その他	190,248	196,496
<b>固定負債合計</b>	<b>3,074,632</b>	<b>3,267,302</b>
<b>負債合計</b>	<b>10,432,981</b>	<b>10,740,122</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	565,295	565,295
資本剰余金	376,857	376,857
利益剰余金	5,532,520	5,409,498
自己株式	4,231	4,231
<b>株主資本合計</b>	<b>6,470,441</b>	<b>6,347,419</b>
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	106,908	178,976
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>106,908</b>	<b>178,976</b>
<b>純資産合計</b>	<b>6,577,349</b>	<b>6,526,395</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>17,010,330</b>	<b>17,266,517</b>

## ( 2 ) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

( 単位：千円 )

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
<b>売上高</b>		
商品売上高	4,785,808	4,531,218
完成工事高	3,103,800	4,051,960
売上高合計	7,889,609	8,583,179
<b>売上原価</b>		
商品売上原価	3,472,787	3,470,239
完成工事原価	2,681,129	3,180,286
売上原価合計	6,153,917	6,650,525
<b>売上総利益</b>		
商品売上総利益	1,313,020	1,060,978
完成工事総利益	422,671	871,674
売上総利益合計	1,735,691	1,932,653
<b>販売費及び一般管理費</b>		
販売費及び一般管理費合計	<sup>1</sup> 2,097,028	<sup>1</sup> 2,045,533
<b>営業損失 ( )</b>	361,337	112,879
<b>営業外収益</b>		
受取利息	630	227
受取配当金	12,115	12,760
仕入割引	407	648
受取家賃	10,971	17,850
技術提供収入	6,001	3,591
その他	7,949	7,721
営業外収益合計	38,077	42,799
<b>営業外費用</b>		
支払利息	26,467	24,103
支払手数料	12,420	18,021
その他	9,398	11,221
営業外費用合計	48,285	53,346
<b>経常損失 ( )</b>	371,545	123,427
<b>特別利益</b>		
固定資産売却益	-	543
特別利益合計	-	543
<b>特別損失</b>		
固定資産除却損	855	0
特別損失合計	855	0
<b>税金等調整前四半期純損失 ( )</b>	372,400	122,884
<b>法人税、住民税及び事業税</b>	2,533	3,081
<b>法人税等調整額</b>	115,945	39,798
<b>法人税等合計</b>	113,411	36,717
<b>少数株主損益調整前四半期純損失 ( )</b>	258,989	86,167
<b>四半期純損失 ( )</b>	258,989	86,167

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失( )	258,989	86,167
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	74,965	72,068
繰延ヘッジ損益	1,141	-
その他の包括利益合計	76,107	72,068
四半期包括利益	335,096	14,099
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	335,096	14,099
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失( )	372,400	122,884
減価償却費	109,477	103,424
賞与引当金の増減額( は減少)	26,752	60,212
退職給付引当金の増減額( は減少)	8,004	602
貸倒引当金の増減額( は減少)	9,128	9,038
受取利息及び受取配当金	12,746	12,987
支払利息	26,467	24,103
有形固定資産売却損益( は益)	-	543
有形固定資産除却損	855	0
売上債権の増減額( は増加)	3,622,888	78,745
未成工事受入金及び前受金の増減額( は減少)	83,571	88,416
たな卸資産の増減額( は増加)	199,397	161,411
仕入債務の増減額( は減少)	1,592,214	28,998
その他	243,689	15,007
小計	1,448,440	4,632
利息及び配当金の受取額	12,691	12,992
利息の支払額	25,764	24,865
和解金の受取額	500	-
法人税等の支払額	274,212	2,507
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,161,654	9,747
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	-	100,000
有形固定資産の売却による収入	1,159	1,170
有形固定資産の取得による支出	58,163	10,842
無形固定資産の取得による支出	2,360	1,064
貸付金の回収による収入	3,147	2,400
投資活動によるキャッシュ・フロー	56,217	91,662
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額( は減少)	400,000	-
長期借入れによる収入	500,000	900,000
長期借入金の返済による支出	581,900	593,600
社債の発行による収入	731,864	98,340
社債の償還による支出	190,000	275,000
自己株式の取得による支出	305	-
リース債務の返済による支出	34,787	40,992
配当金の支払額	110,450	36,763
財務活動によるキャッシュ・フロー	85,579	51,984
現金及び現金同等物の増減額( は減少)	1,019,857	133,899
現金及び現金同等物の期首残高	1,195,146	2,395,919
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,215,004	2,529,818

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 手形債権流動化

手形債権の一部を譲渡し債権の流動化を行っております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
受取手形の債権流動化による譲渡高	400,837千円	- 千円

2 連結会計年度末日満期手形

連結会計年度末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の連結会計年度末日満期手形が前連結会計年度末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
受取手形	42,103千円	- 千円
支払手形	112,839	-

3 偶発債務

社債の債務履行引受契約に係る偶発債務

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
(株)ケー・エフ・シー第15回無担保社債	20,000千円	- 千円
(株)ケー・エフ・シー第16回無担保社債	40,000	20,000
(株)ケー・エフ・シー第17回無担保社債	30,000	20,000
(株)ケー・エフ・シー第18回無担保社債	60,000	40,000
(株)ケー・エフ・シー第19回無担保社債	60,000	40,000
合計	210,000	120,000



(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
役員報酬及び給料手当	806,331千円	807,747千円
賞与引当金繰入額	122,659	120,560
退職給付費用	105,800	107,158
貸倒引当金繰入額	2,128	1,174

2 業績の季節的変動

建設業界の受注形態の特性上、季節的変動があり、とりわけ公共事業関連の工事については予算の執行上、年度末に向けて完工物件が多くなる傾向があるため、当社グループの業績についても、下期偏重となる傾向にあります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び預金勘定	2,515,004千円	2,029,818千円
金銭の信託(有価証券)	-	500,000
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	300,000	-
現金及び現金同等物	2,215,004	2,529,818

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月22日 定時株主総会	普通株式	110,571	15	平成24年3月31日	平成24年6月25日	利益剰余金

2. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月21日 定時株主総会	普通株式	36,854	5	平成25年3月31日	平成25年6月24日	利益剰余金

2. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	ファスナー	土木資材	建設	計	
売上高					
外部顧客への売上高	3,208,489	3,510,243	1,170,876	7,889,609	7,889,609
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	3,208,489	3,510,243	1,170,876	7,889,609	7,889,609
セグメント利益又は損失( )	144,823	23,967	250,690	371,545	371,545

(注)セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常損失と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	ファスナー	土木資材	建設	計	
売上高					
外部顧客への売上高	2,998,992	3,006,453	2,577,734	8,583,179	8,583,179
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	2,998,992	3,006,453	2,577,734	8,583,179	8,583,179
セグメント利益又は損失( )	45,705	78,702	90,431	123,427	123,427

(注)セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常損失と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純損失金額( )	35円14銭	11円69銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失金額( )(千円)	258,989	86,167
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純損失金額( )(千円)	258,989	86,167
普通株式の期中平均株式数(千株)	7,371	7,370

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月6日

株式会社ケー・エフ・シー

取締役会 御中

太陽A S G有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 高木 勇 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 宮内 威 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ケー・エフ・シーの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ケー・エフ・シー及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。